



JR東労組千葉地本 第41回定期中央委員会 成功裡に終了!

《スローガン》

組合員の雇用と利益を守る「抵抗とヒューマニズム」を基軸に、
 「新生JR東労組運動宣言」のもと、職場現実からの議論を通じて
 組織拡大を勝ち取り、JR東労組の未来を切り拓こう!

2月17日、感染防止対策を施し、第41回定期地本委員会を開催しました。

下村執行委員長挨拶では「全組合員で危機意識を共有し、組織強化・拡大に取り組まなければならない」「職場から言動を掴み押し上げてきた成果を確認しつつ、利益誘導に負けず、組合員間の団結を強化し、継続して安心して働ける職場風土の確立を目指していく」「新生東労組運動に自信を持ち、東労組の必要性、自分にとっての東労組とは何かを組合員一人ひとりが訴えて、組織強化・拡大を実現し、その力をもって危機的な経営状況を突破し、雇用と労働条件を守っていこう」など挨拶がありました。

11名の委員から「再加入の教訓的な実践」「管理者・フォアマン層と一般社員とのコミュニケーション不足」「丁寧さを欠いたジョブローテーションでは、モチベーションや働きがいが上がらず、生産性向上に繋がらない」「過半数代表選のたたかい」「情勢や社員の生活に合った福利厚生や諸手当の要求」「バス職場の厳しい現実と分会再建に向けた奮闘」「パワハラや差別を防ぐためには、労働組合がチェック機能を果たしていかなければならない」「指導員になりたければ脱退しろと言われ、組合員が悩んでいる。赤字でありながら組合に不当に介入している場合ではない」「生活維持のためのベア要求や、雇用を不安視する声比以前よりも増えている」など、多くの発言がありました。千葉地本は、抵抗とヒューマニズムの精神に則り、「新生JR東労組運動宣言」のもと運動を進めてまいります。組合員の声に耳を傾け、差別やハラスメントを跳ね除け、仕事と職場を守るため、引き続き会社と議論していきます。組織や社会の危機的状況を踏まえ、組合員の雇用と利益を守るために、全組合員でスピード感をもって新規・再加入の取り組みをしていく方針とスローガンを満場一致で確認し、成功裡に終了しました。

委員会宣言

2月17日、JR東労組千葉地本は千葉市民会館において第41回定期地本委員会を開催し、21春闘をはじめとする運動方針をJR総連に結集する仲間と共に、たたかい抜いていくことを満場一致で確認した。

新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナという)は、2度目の緊急事態宣言が発出されるほど拡大した。新型コロナは社会や経営状況を一変させ、JR東日本は赤字決算になる見通しを示している今、私たちは感染の危険に晒されつつも、黒字経営に向けて安全安定輸送と収益を確保するため、施策や業務を担っている。しかし、このような状況下で一部の管理者が、本人の希望や生活を人質に取り、利益誘導している言動があったと発言があった。経営が危ぶまれている中で不適切な行為は、社員のモチベーションを低下させるばかりか、コンプライアンス違反により社会的信用を失墜させ、人材や資金も集められない事態へと発展しかねない。千葉地本は、最悪な事態を引き起こさないために、職場現実から申8号交渉へと積み上げて、不当労働行為やハラスメントの撲滅に向けて認識を合わせてきたが、未だ続いている現実を受け止め更なる議論で解決を目指していく。

各職場では過半数代表者選挙が行われ東労組の組合員も立候補し、昨年の課題を克服しながらたたかいを推し進めている。これまで指摘してきたことが是正され、選挙期間や投票箱の改善は図られてきたが、まだ課題が多くあるとの意見もある。労働組合のチェック機能を最大限に発揮して、各職場の課題を点検し、東労組の仲間の絆で職場の垣根を越え、たたかいを創り出そう。

組織実態や今後の施策での異動を考えて、連合分会の立ち上げや組織の再編に向けた発言があった。今後の経営状況の変化による働き方の構造改革が推し進められ、鉄道事業の仕事や職場の変化は不可避である。ワンマン運転の施策へ真摯に向き合い、雇用と生活、組織を守るためワンマンプロジェクトを通じて具体的な提言を打ち出したことは教訓である。「新たなジョブローテーション施策」の異動により、施策を創り上げる場合のキャリアプランの一致が必要であることが明らかになった。そのためには、更なる検証運動を職場から積み上げ、私たちの描く施策を創り出そう。

変革2027では、あらゆる業務の機械化・システム化が目指されている。どんな未来であろうとも人にしかできない業務を率先して担っていこう。人が幸せを感じる事ができなければ、変革2027は達成できない。そこには「人」が必ず存在し「人」が主役であることを忘れてはならない。「人」が存在しなければ、組織も未来も存在しない。千葉地本は、「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」を全組合員で実践し、組織強化・拡大をより一層推進し正々堂々とJR東労組運動を推し進めよう。夢や希望が持てる明るい未来を自らの手で切り拓き、各地で起きている災害に笑顔あふれる光の手を仲間と共に差し伸べよう!

以上、宣言する。

2021年2月17日
 東日本旅客鉄道労働組合千葉地方本部
 第41回定期地本委員会



議長 近藤委員
(成田)



21春闘勝利に向けた檄布を
中央本部に手渡す!



災害支援募金にご協力いただき
ありがとうございました!

JR東労組の存続を賭け、全組合員で組織強化拡大に取り組もう!